

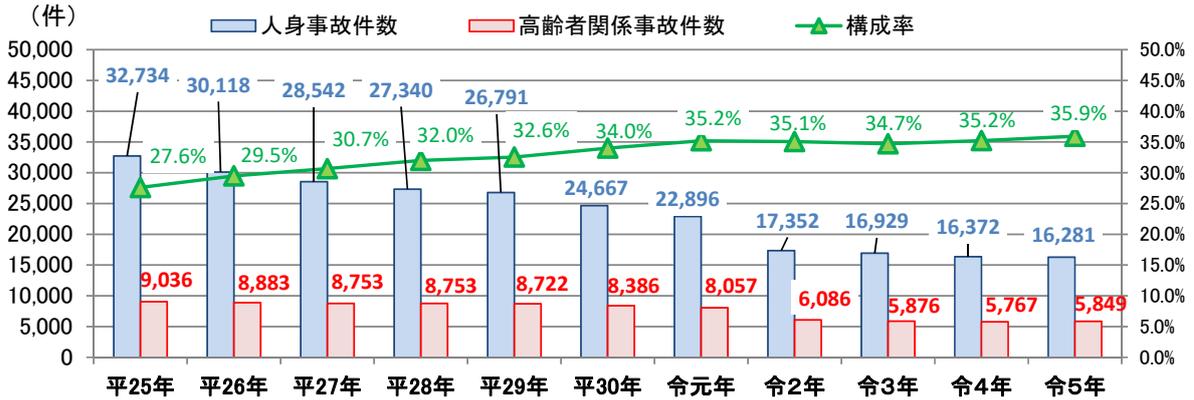
高齢者が関係する交通事故発生状況

○ 高齢者の交通事故発生状況

区分	年別											前年対比	
	平25年	平26年	平27年	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年		
人身事故件数(件)	32,734	30,118	28,542	27,340	26,791	24,667	22,896	17,352	16,929	16,372	16,281	-91	
関係事故件数(件)	9,036	8,883	8,753	8,753	8,722	8,386	8,057	6,086	5,876	5,767	5,849	82	
構成率(%)	27.6%	29.5%	30.7%	32.0%	32.6%	34.0%	35.2%	35.1%	34.7%	35.2%	35.9%	—	
高齢者の死傷者	死者(人)	103	103	84	80	86	90	76	65	72	66	58	-8
	傷者(人)	6,025	5,824	5,734	5,695	5,556	5,336	4,991	3,683	3,464	3,370	3,306	-64
	死傷者(人)	6,128	5,927	5,818	5,775	5,642	5,426	5,067	3,748	3,536	3,436	3,364	-72

注1 上記の「関係事故件数」とは、第一当事者または第二当事者のいずれか、あるいは、両方が「高齢者」である交通事故を指す。

注2 「高齢者」とは、年齢65歳以上の当事者を指す。

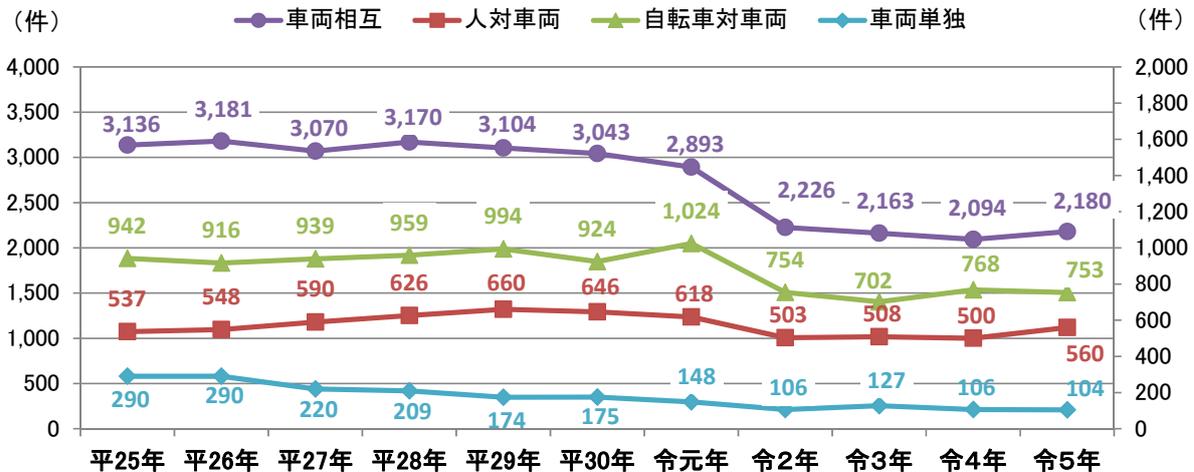


○ 令和5年中の高齢者が関係する人身事故件数は5,849件(前年対比+82件)で、全人身事故件数に占める割合は35.9%(同+0.7%)となっており、高齢者の死者数は58人(同-8人)であった。

○ 平成25年以降の高齢者が関係する人身事故件数は減少傾向にあったが、令和5年に増加に転じた。また、同件数の全体に対する構成率については、平成25年以降で最も高くなった。

○ 事故類型別発生件数(第1当事者が高齢運転者の事故件数(原付以上))

区分	年別											前年対比	
	平25年	平26年	平27年	平28年	平29年	平30年	令元年	令2年	令3年	令4年	令5年		
事故類型別発生件数 (第1当高齢運転者 原付以上)	合計	4,905	4,935	4,819	4,964	4,932	4,788	4,683	3,589	3,500	3,468	3,597	129
	人対車両	537	548	590	626	660	646	618	503	508	500	560	60
	自転車対車両	942	916	939	959	994	924	1,024	754	702	768	753	-15
	車両相互	3,136	3,181	3,070	3,170	3,104	3,043	2,893	2,226	2,163	2,094	2,180	86
	車両単独	290	290	220	209	174	175	148	106	127	106	104	-2
列車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	



○ 令和5年中の高齢者が第1当事者となる人身事故件数(3,597件)を事故類型別でみると、「車両相互」が2,180件と最も多く、全体の約6割を占めた。

○ 10年前の平成25年と比較して「車両単独」は約6割、「車両相互」は約3割、「自転車対車両」は約2割それぞれ少したが、「人対車両」は増加した。